

わたしの〇〇~つづやき編~



鳴原いづみ

先日、市内の運動公園で銀杏並木がライトアップされている事をTVで知り、見に行ってきました！とっても綺麗で「こんなきれいな所が福島にもあったんだ～」と驚いてしまいました！！自然の中、おいしい空気を吸いながら歩いていると嫌な事も忘れてしまいそうな・・・そんなひと時でした。



今江淳子

先日、小学校の親子活動で娘と音楽療法士の近藤美智子先生の講演を聞きました。とても感動する内容で、東日本大震災後に訪れた宮城県石巻市の方のお話や治療をされている患者さんのお話をして下さいました。命や愛、思いやりなどお話を聞きながら泣いてしまいました。先生は「こうして生きている、生かされたその意味を考えながら命を大切にして下さい。」とおっしゃっていました。改めて時間を大事にし、悔いのない様に過ごしたいと思いました。



鈴木貴博

先日、ドラゴンズファンの次男が、近所のスーパーで阪神ドラフト2位指名された聖光学院の歳内投手を見かけて、握手をしてもらい一緒に写真を撮ってもらいました。息子は来年から、ドラゴンズのユニフォームから、阪神のユニフォームに変わることでしょう(´・`)
がんばれ！！歳内投手！！



小林文喜

仕事が終わって帰宅するとカサカサと音がしたので見てみると、虫を捕まえようと猫がじゃれていました。すかさず写真を撮りました。
あっ！もしやプランターを荒らした猫かな～？
猫が好きなので、とても微笑ましい光景でした。
(写真見づらくてすみません)



國分進一

1971年にジョン・レノンが『ハッピー・クリスマス(戦争は終わった)』を歌ってから40年が経ちました。副題にあるように戦争のない世界を願って作られた楽曲ですが、大きな出来事があったこの一年を振り返ると、何か心にグッとくるものがあります。ジョン・レノンのように、来年は何も恐れることの無い良い年であるように願っています。



石川一也

カレンダーも最後のページ、今年も12月が来てしまいました。『アッ!!』という間の1年だったと思います。僕は来年、40歳という節目の歳となります。そこで残り僅かな30代を満喫していきたいです。

ぱるる的農業生活！！

～楽しく育てて、おいしく食べよう！！～



2010/8月から VOL15

鳴原いづみ (ラディッシュ)

寒くなってきたので芽が出るか、かなり不安なのですが・・・今回も“ラディッシュ”に再挑戦してみたいと思います。合わせて、先日お客様からいただいた“ゴムの木”も大切に育てていきたいです。
ありがとうございました！\(^o^)/



今江淳子 (菜の花)

前回のカブやトウガラシが失敗でしたので、今回は新たに菜の花の種を蒔きました。春先にならないと収穫は出来ないと思いますが冬の寒さにも耐えて元気に育ってくれると良いなあと思います。



鈴木貴博 (タイム)

寒くなってきたので、今回は家の中でハーブを育てることにしました。種の袋を見ると、暑さ、寒さに強く、病害虫にもほとんどおかさねず、どんなところでもよく育ちます！！ すばらしい！！ 土もハーブ用にしました(^)v。出来たらハーブティーにしてみます、アレルギー性鼻炎にいいみたいなので。

小林文喜 (秋茄子)

すっかり寒くなり、結局ナスは実ることもなく終わってしまった感じです。ほうれん草は肥料が足りなかった為か思いのほか育ちませんでした。今回は食べることなく終わってしまい残念です。野菜さんごめんなさい。



國分進一 (白菜、春菊、キャベツ)

キャベツが大きくなりました。実は、朝霜にあたって何本か萎れてしまい、生き残った精鋭たちをどこに植えようかと作戦会議中であります。指揮官のじいちゃん的には南向きの畑に配置すればいけるだろうということで、私としては胸に一物ないわけではないですが、経験と年の功に従い早速手配する所存です。

石川一也 (ビオラ)

最近、朝晩を問わず寒くなってきました。事務所にストーブも入り季節は冬模様です。すると、先月まで鳴りを潜めていたビオラがなんと花を咲かせているではないですか!!
気温の変化ひとつで植物も元気になるんですね。
ちなみこれは、帰り咲き？ 狂い咲き？



二〇一一年最後のひと月を迎えます。今年には自然という大いなるものに思いを馳せざるを得ない年となりました。こうして生かされていることに感謝を覚えずにはいられません。また、毎日仕事ができる環境にあることも本当に恵まれていることだと思えます。意見の食い違いがあつて感情的になつたり、はたまた衝突し、イライラして一日を過ごした人がいるなんてことが耳に入つてきて

「クリスマス」の飾りつけをした方がいい」とスタッフから提案がありました。お客さんに喜んでもらうには？と意見を出し合つた結果です。すごいですね。福島支店を開設して一回目のクリスマスですが、私自身はたったの一度も考えたことはありません。納品が主な業務なので、直接お客様にきていただけですが、それがたたくさんの方に来る飾りつけがあれば、確かに喜んでくれますよね！？」

「クリスマス」の飾りつけをした方がいい」とスタッフから提案がありました。お客さんに喜んでもらうには？と意見を出し合つた結果です。すごいですね。福島支店を開設して一回目のクリスマスですが、私自身はたったの一度も考えたことはありません。納品が主な業務なので、直接お客様にきていただけですが、それがたたくさんの方に来る飾りつけがあれば、確かに喜んでくれますよね！？」

「クリスマス」の飾りつけをした方がいい」とスタッフから提案がありました。お客さんに喜んでもらうには？と意見を出し合つた結果です。すごいですね。福島支店を開設して一回目のクリスマスですが、私自身はたったの一度も考えたことはありません。納品が主な業務なので、直接お客様にきていただけですが、それがたたくさんの方に来る飾りつけがあれば、確かに喜んでくれますよね！？」

「クリスマス」の飾りつけをした方がいい」とスタッフから提案がありました。お客さんに喜んでもらうには？と意見を出し合つた結果です。すごいですね。福島支店を開設して一回目のクリスマスですが、私自身はたったの一度も考えたことはありません。納品が主な業務なので、直接お客様にきていただけですが、それがたたくさんの方に来る飾りつけがあれば、確かに喜んでくれますよね！？」

「クリスマス」の飾りつけをした方がいい」とスタッフから提案がありました。お客さんに喜んでもらうには？と意見を出し合つた結果です。すごいですね。福島支店を開設して一回目のクリスマスですが、私自身はたったの一度も考えたことはありません。納品が主な業務なので、直接お客様にきていただけですが、それがたたくさんの方に来る飾りつけがあれば、確かに喜んでくれますよね！？」

しごと場
佐藤康則

かがやき

感謝して励みましょう

発行人
〒960-8164
福島市八木田字中島112-2
TEL (024) 545-5266
FAX (024) 545-5261
株式会社ばるる福島支店
http://www.paruru.co.jp



好評企画 第5回！！

わたしの休日の過ごし方

Profile
小林文喜
75年生まれ。福島県矢吹町生まれ。地元の小、中、高校卒業。仙台の専門学校で学び、95年にばるる本社入社。03年福島支店へ転勤
コメント：福島にだいぶんじんできました。

私の休日は、土曜日の午前中に洗濯を終わらせ毎週ではありませんが午後から実家に帰りゆったりと過ごします。

私の実家は築76年になる古い家です。焚き木を焚いてお湯を沸かし、お風呂や冬場の水回りに使用するためのボイラーという機械があります。温度は80℃まで沸かすようにします。



朝4時半に目覚ましが鳴っても起きられず眠い目をこすりながら5時すぎにやっと起きます。さっそく作業着に着替え木を切る準備をします。



この木をボイラーに入るように長さは約30cm位にチェーンソーを使ってカットしていきます。太い丸太は新割りに欠かせない、鉞を使い2等分か4等分に割っていきます。これがなかなか体力を使い筋肉痛は、まめがれません。



切った木を離れている置き場に一輪車を使い、運び並べます。8時位になり、ちょっと少ないですが今日の所は終了です。夢中になっていたため終わってから手の全体にジンジンしているのに気がつきました。

手袋を外すと手に豆ができていました。午後からは昼寝をしてゆつくりと身体をやすめました。雪が降る前にまたこの作業をしたいと思います。



【あしがき】
今年も残りあと1カ月となりました。日に日に寒さが増し、朝、ぬくぬくのお布団から抜け出せずに、眠気と寒さと戦う毎日です。そんな私の最近の「至福の時」は、今江さんとの会社での「おやつタイム」です！「せいざん」さんから購入したおいしいコーヒーを飲み、おいしいお菓子を食べている時、本当にしみじみと「幸せ〜（*。*）」と感じてしまいます。一日の中に、そんな楽しみを一つでも多く見つけて、楽しく過ごしていきたいと思います。鳴原いづみ

読書コーナー

「素心のすすめ」

池田繁美 著 (モラロジー研究所)

【本文より】
「素直な心」とは、目の前で起こるできごとに対して好悪の感情をはさまず、それがあるがままに受け入れられる状態のことをいいます。そして、その心の状態から、自然と正しい行動を起すことのできる人が、「素直な心」です。

スタッフ感想

より良い人生を送っていくには「素直な心をもつ」という事がとても大切で、その為にはどんな考えをもち、どんな行動を行えばいいのかというヒントがたくさん書かれていて、とても勉強になった本でした。：鳴原いづみ

そのままを、あるがままに受け入れていくとありましたが素直に実行できるように努力したいと思いました。：今江淳子

心の癖を直すことは大変ですが、ありのままを受け入れる素直な心や、気持ちを落ち着かせることで少しずつ癖を直せることを学びました。：小林文喜

物事を知ったつもりにならず、正しく知るため、正しく行えるよう常に心を磨いていなくてはならない事に気がきました。：國分進一

素直な心とは、直面するものごとの本質があるがままに受け入れられる状態をさしてあります。と書いてありますが、自分はまだまだ「わがまま」だなあと反省させられました。：鈴木貴博

何事も素直、純粹さをもって日々暮らすことが大事だと書いてありました。まさに清く、美しくのテーマにまだまだ、僕には足りないものが多いと感じました。：石川一也